

2026
7/31
第176号

議会だより のた

おもな
内容

第12回定例会（令和8年6月）など
村政を問う（一般質問）…… p4～p9

キュウリの葉切り作業



6 月 定例会

第12回野田村議会定例会が6月9日から12日までの4日間を会期に開催されました。
本定例会では、一般会計補正予算など議案10件、報告2件、承認3件を審議し、すべての案件を原案どおり可決しました。

一般会計 補正予算

12日に審議が行われた一般会計補正予算は、総額に歳入歳出それぞれ1820万3000円を追加し、補正後の予算総額を39億3886万円としました。

歳出のおもなものは、漁港施設維持業務、旧観光物産館等維持管理及び簡易水道事業会計補助金等に要する経費のほか、人事異動に伴う一般職給与費等の人件費、みちのく潮風トレイルハイカー受入環境整備事業（玉川野営場トイレ改修）などです。

人事

監査委員 新たに選任

中村 一浩氏

本年6月14日をもって任期満了の中村司監査委員（識見）の後任として、新たに中村一浩氏（下明内・65）を任命することに同意しました。
任期は、本年6月15日から4年間です。



選挙管理委員と補充員の選挙

（敬称略）

令和8年6月28日をもって任期満了となる選挙管理委員と補充員の選挙が行われました。

選挙の方法は議長による指名推薦で、この選挙による委員および補充員の当選人は表のとおりです。

選挙管理委員	沢田 賢雄 里中 保雄 式又 良子（新） 葛巻 修治（新）
補充員	第1順位 南川 好明（新） 第2順位 大沢 幸正 第3順位 種綿 和久 第4順位 野竹 みつえ

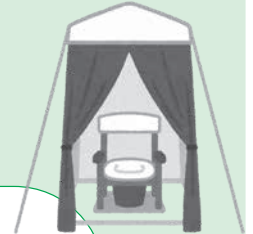
おもな事業



現在の指揮広報車

野田村消防団本部指揮広報車の更新

982万3,000円



自主防災組織等事業費補助金

災害時に避難所等で使用できる防災資器材
(組み立て式トイレやポータブル電源等)

150万円

むらづくり推進事業費補助金
自主的な地域づくりを支援する

220万7,000円



下安家漁港の港内静穏度の向上を
図るため沖防波堤を新設

9,020万円



エアコン 設置支援助成事業 ＝のお知らせ＝

エアコンの購入・設置費用
の一部を助成する事業を実施します。



重要 事前申請

本事業は、必ず事前申請が必要です。
※工事の着工・購入前に申請してください。

申請期間

令和8年

令和8年

7月13日月 ～ 12月28日月

お問合せ先

保健福祉課 福祉班 (村保健センター内)
TEL: 0194-78-2913



7月臨時会

第11回野田村議会臨時会が7月7日開催され、一般会計補正予算の議案1件、エアコン設置支援事業150万円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に要する経費を審議し可決されました。

村政を問う

議員 **5名** が登壇

- 一般質問は、村の行財政全般に関し、原則定例会で村の将来への方針や目標、地域や住民生活がよりいっそう豊かになるための課題などを質問できます。
- 質問時間は、1人60分まで、1つに3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	内 容	ページ
まえ かわ やす お 前 川 安 男	1 旧小学校の利活用と管理について 2 治山事業について 3 中学校の校旗について	5
お の で ら 小野寺	1 防災無線について 2 えぼし荘の外構整備美化について 3 道の駅のだばあがるについて 4 小学校について 5 小学校隣接の遺跡について	6
なか がわ のぼる 中 川 昇	1 原油・物価高騰に伴う経済対策等について 2 認知症ケア普及促進について 3 緊急銃猟の体制整備について 4 道の駅の環境整備について	7
たん の かず こ 丹 野 和 子	1 地震・津波避難について	8
やま だ よう こ 山 田 陽 子	1 ごみ処理関連について 2 旧観光物産館の利活用について 3 健康増進計画について 4 生涯教育における運動の推進について	9



前川 安男 議員

旧小学校

利活用と管理は

村長 「みんなの廃校プロジェクト」で公募

問

校舎の周りも草刈り等、鳥獣等が住

村長 令和6年7月に、文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」のホームページに掲載し、広く公募を行っているが、現在のところ応募はなく、活用方法は具体化していない。今年度は、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画を改訂予定であり、旧小学校も中長期的な取り扱い方針を検討していく。

問

旧小学校の体育館は時々利用されているが、校舎の利用はないようである。利活用を今後どのように進めるのか。



みつからないようにしっかりとした管理が必要である。どこでどのように管理していくか。

村長

施設及び敷地内の適切な維持管理に努めていく。現時点では教育委員会が管理しているが、学校施設ではなくするため、今後普通財産として最善の方針を考えたい。

野田漁港
早急にトイレ設置を

問

野田漁港の崩落現場の工事は少しずつ進んでいるが、トイレが使用できない状態である。衛生面等を考えて使えるよう県に要望すべきではないか。

村長

現在設置されている仮設トイレが使いやすいとの意見があることは承知している。施工期間中、漁港の利用者が、より使いやすい大型の仮設トイレを設置するよう県に要望している。

問

野田中学校の校旗は、昭和30年度卒

中学校校旗
新調する時期では

村長 もともとのトイレは、治山工事が終わらないと復旧できないと聞いている。その間は、請負業者が現場事務所を使うトイレに、なるべく大型のものを設置して漁業者にも使わせてもらえると回答をいただいた。6月下旬には現場事務所のトイレを設置していただくと聞いている。

再質問

7月に入るとウニ採りが始まり利用者が増える。漁業者等、特に女性が不便な思いをしている。なるべく早く要望できないか。



業生の寄贈から70年が経ち、だいぶ色褪せてきている。学校の顔でもある校旗を新調する時期ではないか。

教育長

ご指摘のとおり、校旗は色褪せ、旗竿の冠頭部分が損傷している状態である。学校と相談し新調の方法や更新時期等検討していく。



再質問

いつ頃をめどに検討するのか。

教育長

私見として、創立80周年を迎える令和10年度中に新調した校旗を準備したい。多額の費用が予想されるので、今後学校と新調の時期など協議を深め、予算確保の方法も研究検討していきたい。

早急な対応策を

村長 柔軟な対応を考えている



小野寺 豊 議員

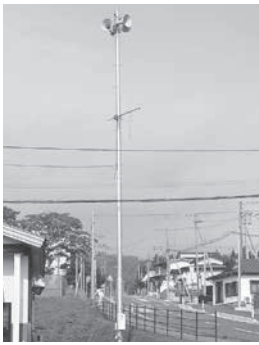
中平地区の拡声器移設

問

防災無線の音に聞こえなかったり、聞き取りにくかった地域は、移設工事ですらに悪化している。昨年の中平地区住民懇談会では「実態の把握を早急にし、場合によっては戸別に受信機設置も」との答弁だった。5月末現在で設置が必要な件数と設置済みの件数はあるか。

村長

拡声器移設に伴い聞き取りにくいと感じられる地域への対応として、戸別受信機の設置も含めた柔軟な対応を考えている。5月末現在で設置が必要と判断した件数と設置済みの件数はない。



移設された拡声器

再質問

聞き取りにくさは中平地区に限ったことではなく、樹木等の成長に伴って増しているようだ。全体をカバーする方法も早急に考えるべき。戸別の設置費用と優先順位はどうか。

村長

聞こえない場所がある場合には、役場に相談するよう呼びかけているが、なかなか個別の相談はない状況である。再度周知をかけ、個々に話しづらければ、要望を聞いている議員や行政連絡員を通じて情報等いただければ現地で確認しながら対応したい。戸別受信機の在庫が20台程度で設置できる。優先順位は、申し出の順に対応し、足りない場合は購入し設置する。いずれ、地形や樹木の状況により環境が変化しているの、機会をとらえ必要あれば調査する。また、別の方法等も検討したい。

野田小学校

問

小学校の新校舎は昨年2学期から開校した。これまでに学校側から改良改善や追加の要望はあるか。

教育長

開校前に、給食配送車の搬入口における安全確保対策の事例が1件あった。

再質問

鳥獣被害や防犯対策として、校門にスライド式ゲートの設置や防犯カメラ、モニターを増設が必要だが、どう考えるか。

教育長

スライド式のゲートは今後検討したい。



常に開放状態の校門

再質問

校庭の砂の飛散対策は。

教育長

新築に際して校庭に使用した土は、「A級グリーン舗装」という比較的飛びにくくグラウンドに適した土を採用した。水はけもよく固くなりすぎない。しかしある程度強い風が吹いた場合には、校舎側や敷地外にも飛散していると報告があった。今後も土の効果を検証し、必要があれば具体的な対策を研究していきたい。

【その他内容】

○えぼし荘の外構整備美化について

○道の駅のだあぶるについて

○小学校隣接の遺跡について



中川 昇 議員

原油・物価高騰

経済対策を

村長 必要な対策を検討する

問

中東情勢の悪化に伴う原油価格の高騰や供給不足等による影響は、燃油・電気・ガス等の高騰にとどまらず広範囲に及んでいる。こうした状況をふまえ、国の経済対策の動向や地域経済の実態を見極めながら、村として経済対策の実施を行うべきだが、どう考えるか。

村長

中東情勢の影響による原油価格の高騰及び原材料等の供給不足は、村民の生活や事業活動に多大な影響を与えていると認識している。国は、中東情勢などの国際情勢の変化に対応するための補正予算を成立させたところであり、本村の経済対策については、国の動向を注視するとともに必要な対策を検討したい。

認知症ケア普及促進を

問

高齢社会の進展により、認知症状で介護が必要な家族の増加が懸念されている。認知症の人に寄り添うケア技法である「ユマニチュー

ド」の理解を広げることが大切である。相手との間に信頼関係が生まれ、お互いにとって安心の介護体制を育むことができれば、介護する家族等村民に向け、周知を図る必要があるが、どう考えるか。

村長

本村では、国の認知症施策推進基本計画に基づき、認知症に対する正しい知識の普及と理解促進を図るための講座を開催している。「ユマニチュード」は認知症の方の尊厳を大切に、「見る」「話す」「触れる」「立つ」を基本としたコミュニケーション・ケア技法である。具体的な技法の習得や実践は、介護や医療の専門職がそれぞれの現場で学びを深め、活用することが望ましい。

緊急銃猟の体制整備を

問

今年も県内で春先からクマの出没が相次ぎ、人身被害も発生している。人の生活圏への出没をすべて防ぐことは難しく、市町村の判断で市街地での銃猟の使用

を認める「緊急銃猟」は危険が伴うため慎重に行う必要がある。そのため、関係機関による実地訓練や関係者間の共通認識を共有しなければならぬ。クマの緊急銃猟を想定した実地訓練を実施すべきだが、どう考えるか。

村長

全国的にクマの出没件数や人身被害の捕獲頭数が増加している。このため、緊急銃猟は市街地において住民の身体生命を守るため、極めて有効な手段になる。実地訓練はこの夏、県で管内市町村を対象とした訓練を実施する予定であり、従事者の対応力向上を図りたい。

道の駅の環境整備を

問

令和7年6月にオーブンした「道の駅のだばあぶる」は1周年を迎える。三陸沿岸道路野田ICそばに立地し、八戸圏域、仙台圏域など遠方から観光客等が訪れており、この立地条件を生かし本村の経済活性化等を図らなければならぬ

い。イベント等の際、駐車場が混雑し事故の発生が懸念され拡張すべきと考える。また、乳幼児を抱える親を見かけると遊ばせることができるスペースが必要だが、どう考えるか。

村長

イベント等の際には利用者の混雑が見受けられスペースがせまく感じるが、指定管理者で駐車場に簡易標識を設置し、スタッフによる誘導等に対応している。現在、拡張予定はないが、北側の山林の平地等を利用できないか検討し改善したい。また、乳幼児を遊ばせるスペースは屋外に芝生を整備予定のため、活用してほしい。



「道の駅のだばあぶる」駐車場

車避難の容認とルールの周知を

村長 住民多数が車避難



丹野 和子 議員

問

4月20日に三陸沖で発生した地震と津波警報による避難の方法はほとんど自動車だった。以前、カムチャツカ半島地震時の自動車避難について質問した時は、渋滞等の問題はなかったとの答弁だった。現時点で、最良のルールを村民に周知し、自動車避難を容認してはどうか。

村長

避難手段は原則、徒歩としているものの、令和7年7月のカムチャツカ地震や本年4月の三陸沖地震での津波警報で避難された住民のほとんどは自動車による避難だった。このため、改めて周知する必要性はないと思われる。

駐車場・指定避難所の環境改善を

問

津波避難で小学校に行こうと思ったら、中学校の校庭に誘導

された。中学校の校庭を駐車場に利用するなら、校庭のトイレに外灯をつけたり、トイレまでの道を歩きやすくするなどの改善が必要ではないか。

村長

避難の際は避難所の屋内に入ることが原則である。中学校の屋外である校庭は避難所でないため、トイレは小学校や中学校武道場を利用してほしい。

問

指定避難所での間仕切り等を利用した避難者のプライバシーを守るスペース確保、飲料水・食料の提供等で避難者の負担を軽くすることが必要ではないか。

村長

間仕切りや食料などの提供は、避難する時間や期間により対応している。避難時の食料や避難生活に必要な物資は、各自準備いただくのが基本と考えている。



中学校校庭に避難した車

問

中学校駐車場にいる方は、屋内の指定避難所のような食料・飲料水の配布状況などの情報が入ってこない。小中学校の避難者に限った情報伝達手段として、小中学校の校内放送を利用できないか。

村長

情報の伝達は防災無線や村公式LINE、エリアメールを基本としている。校内放送の利用は、食料などの提

供と同様に避難する時間や期間によって対応を検討したい。

要支援者・一人暮らしの高齢者避難

問

以前の答弁では、「関係機関と話し合って支援方法を考える。」とのことだったが、今年度の自主防災組織の活動目標、計画等は進んでいるか。また、要支援者の個別避難計画はどうなっているか。

村長

自主防災組織は、町内会等を単位に組織され活動目標も異なる。村は自発的に結成される自主防災組織の活動に依りて、独自の訓練に職員や派遣や組織立ち上げに支援している。避難行動要支援者の個別避難計画は前回の令和7年2月末現在の作成数54名から24名減の30名となっている。



山田 陽子 議員

不足する指定ごみ袋

今後の対応は

村長 随時情報共有しながら

問

中東情勢の影響によるナフサ不足は、日常生活に深刻な影響を及ぼしている。指定ごみ袋の不足への対応は、

村長

6月4日から7月3日まで指定袋以外の透明な袋で排出できると周知した。今後も不安定な状況が懸念されるが、村商工会と情報共有しながら対応していく。

問

この状況を機に、可燃ごみの減量化に向け改めて抜本的な取り組みを進めるべきではないか。

村長

ごみの減量化は住民の協力が必要で、その意識啓発を図るほか、他市町村の先進的な取り組みを情報収集しながら取り組んでいく。

問

今後、可燃ごみ収集回数を1回とする方向性について検討していく時期にきていると考えるが、どう考えているのか。

村長

夏場は週2回収集を継続したい。ほかの時期は必要に応じて検討していく。

高校生のフリースペースを

問

旧観光物産館1階に、利便性が良く安心して列車を待ちながら、勉強の場や防犯対策の一環ともなる高校生などのフリースペースを検討してはどうか。

村長

再度公募し施設利用者を選定しながら、商工観光などの地域振興を図る活用を考えている。

運動習慣者の実績と取り組みは

問

村民の健康に関する、第3次健康増進計画の中で身体活動・運動分野について、前の健康増進計画の成果と運動習慣者の実績及び、今年度からの取り組みとして「ウォーキングを推進し、年齢や体力にあった運動を提供するとともに、

社会とのつながりづくりを進める」とあるが、世代別の具体的な取り組みをどう進めるのか。

村長

本計画の身体活動・運動分野では、「座っている時間を減らす」「身体活動を増やす」という目標で、特別な道具を必要とせず、誰もが手軽に始めることができるウォーキングを取り組みの軸としている。前計画の成果と運動習慣者の実績は、各事業の取り組みで一定の成果はあったと認識している。いっぽうで、働き盛り世代を中心に身体活動量の減少が課題である。また、令和7年度の国保特定健診問診での運動習慣者割合は24・6%で県平均を下回る。世代別では、働き盛り世代には、日常生活に運動を取り入れ、身体活動量の増加を進め、高齢者世代には、運動教室や健康相談会等の既存事業を活用しながら、村民一人ひとりが自分のライフ

生涯教育での運動推進は

問

村民の運動習慣の実態と今後の取り組みの推進は。

教育長

野田村民体育大会の開催や、悠YOUSPORTSクラブの活動や高齢者が多く参加している「eスポーツ広場」など体を動かす機会を提供している。今後も、年代に合わせた生涯スポーツの推進に努めていく。

再質問

一人で運動できるような、トレーニング器具を整備する検討はないか。

教育長

今後も他自治体での導入例や成功事例を参考に研究を重ねていく。

議案一覧

第12回定例会 6月9～12日

番 号	議 案 名	議決結果
報告第1号	令和7年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について	—
報告第2号	令和7年度野田村一般会計予算事故繰越しの報告について	
承認第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第10号）の専決処分に関し承認を求めることについて	承認 (賛成全員)
承認第2号	野田村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	
承認第3号	野田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	
議案第1号	令和8年度野田村一般会計補正予算（第1号）	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和8年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第3号	令和8年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議案第4号	令和8年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第5号	令和8年度野田村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第6号	令和8年度野田村下水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第7号	農林水産物直売所条例を廃止する条例	
議案第8号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
議案第9号	下安家漁港漁村再生交付金事業（沖防波堤）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	
議案第10号	監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意 (賛成全員)

第11回臨時会 7月7日

番 号	議 案 名	議決結果
議案第1号	令和8年度野田村一般会計補正予算（第2号）	可決 (賛成全員)

※議長は採決に加わらない

おもな議会の動き

● 4月 ●

- 6日 野田中学校入学式
- 8日 野田小学校入学式
- 14～15日 令和8年度北部地区町村議会議長会
通常総会（八戸市）
- 17日 村政調査会

● 5月 ●

- 16日 野田中学校体育祭
- 16日 洋野町合併20周年記念式典（洋野町）
- 18日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成
同盟会定例総会（八戸市）
- 19日 町村議会議員研修会（盛岡市）
- 20日 村政調査会
- 23日 野田小学校運動会
- 25日 岩手県漁港漁村協会定時総会（盛岡市）
- 25日 岩手県政150周年記念式典（盛岡市）

● 5月 ●

- 26～27日 全国町村議会議長会 議長・副議長
研修会（東京都）
- 28日 国道455号盛岡普代間道路整備促進期成
同盟会通常総会

● 6月 ●

- 5日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 7日 野田村消防団特別点検
- 9～12日 第12回野田村議定会定例会
- 12日 野田村保育所運動会
- 16日 下安家漁業協同組合通常総会
- 16日 野田村観光協会役員会及び通常総会
- 17日 岩手県立久慈翔北高校野田校舎振興会総会
- 21～23日 はまなす会総会・管外視察研修
（東京都、長野県）
- 29日 野田村体育協会評議員会
- 30日 北奥羽開発促進協議会定例総会（八戸市）



6月21日

『野田はまなす会総会・交流会』

都内で開催された総会・交流会に議員全員で参加しました。

総会では事業計画等が話し合われました。役員改選があり、引き続き久慈士郎会長（前田小路出身）が選出されました。議長は祝辞で「道の駅のだばあぶる」が1周年を迎え、良好なアクセスで全国から来客があることなど述べました。総務省消防庁長官、大沢博さん（下明内出身）のご臨席を賜りました。

参加者と情報交換し、有意義な時間を過ごしました。



6月22日『国会議員への要望活動』



鈴木俊一衆議院議員に、野田村議会として要望書を手渡しました。

【要望内容】

- ①三陸沿岸道路への野田玉川インターチェンジの整備について
- ②有害鳥獣による農作物等被害対策の充実及び強化について
- ③物価高騰対策の継続について

6月22日

『長野県水産試験場』 『大王わさび農場』

長野県水産試験場では職員から説明を受けました。「信州サーモン」「信州大王イワナ」など種苗の供給のほか、ニジマスの養殖もしており、いくつも水槽がありました。

また、大王わさび農場では、信州の広大なわさび園を視察しました。どちらも水量は豊富でアルプスの山々からの天然水とのことでした。



生産拡大に奮闘中

ブロッコリー・キュウリ・ネギ



れいか
新山麗佳さん（北区）

今後の希望

栽培面積の拡大と生産物を利用した6次産業化

行政への要望

害獣駆除の電気柵等補助金の上限と補助率の拡大

新山麗佳さん（40・写真右）は東京都江戸川区出身。20歳の時、結婚を機に野田村に移住し、6年前から野菜を栽培しています。当初は7反歩（約7,000平方メートル）でしたが、現在はブロッコリー、キュウリ、ネギを全部で約7町歩（約7万平方メートル）栽培しています。最近は村内のあちこちでブロッコリー畑を増やすほど、短期間に作付面積を拡大しています。フットワークの軽さと実行力が規模拡大につながっています。現在は、夫 功氣さん（41）と長男 大器さん（20）も加わり3人でスケールアップに取り組んでいます。

議会だよりクイズ

問題



「議会だより のだ」

6月定例会の議案は何件でしょう。

- ① 2 件
- ② 3 件
- ③ 10 件

【前号の答え】 ② 5 人

【当選者】 松場奈南さん、中村彩葉さん、宇部和行さん

正解者から抽選で3名に
「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】 村ホームページ「議会だより のだ」応募フォーム（左側のQRコードを読み取るとかんたん）やはがきに答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。議会だよりに対するご意見もお待ちしています。

【応募先】 〒028-8201 野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで

【締め切り】 9月8日消印有効

【当選発表】 次号発表

あとかき

きびしい暑さが続いています。村民の皆様、十分な暑さ対策で体調管理にくれぐれもご注意ください。

広報分科会として第173号から今号まで、一次産業で自然相手に奮闘する方々のようすを取り上げ季節ごとに表紙を飾ってきました。裏表紙には取材にご協力いただいた方の写真やコメントなども紹介しています。

「議会だより」へのご感想やご意見は、今後の紙面づくりに大変参考になりますので、皆様のご協力をお願いします。

小野寺 豊

発行責任者

議長 米田 忠一

広報広聴常任委員会 広報分科会

委員長 丹野 和子
副委員長 米田 徳一郎
委員 小野寺 光男
委員 小野寺 豊